

令和4年度 第4回上越警察署協議会議事概要

開催日時	令和5年2月21日（火）午後2時00分から午後3時10分まで		
開催場所	上越警察署大会議室		
出席者	委員 (定数15人)	滝澤会長 水嶋副会長 青山副会長 増村委員 君波委員 河野委員 佐藤委員 曾我委員 高館委員 仲山委員 望月委員 和栗委員 (会長・副会長以下50音順)	計12人
	警察	梅田署長 穴沢副署長 南雲地域官 本間刑事官 阿部警務課長 山本生活安全課長 小林交通課長 小林警備課長	計8人

管内の治安情勢

各官課長から、令和4年末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

各課長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について下記のとおり説明があった。

1 特殊詐欺被害防止対策の推進

(1) 防犯講話の実施

地区防犯協会、町内会において防犯講話を実施した。

(2) 年休支給日における広報

12月15日の年休支給日にショッピングセンター等4箇所においてチラシなどを配布し広報を実施した。

(3) 特殊詐欺被害未然防止に対する感謝状の贈呈

特殊詐欺被害を未然に防止したコンビニエンスストア及び銀行に感謝状を贈呈した。

2 交通死亡事故抑止対策の推進

(1) 「冬の交通事故防止運動」の実施

12月11日から10日間行われた「冬の交通事故防止運動」において、

- ・ 関係機関と共同で管内飲食店を訪問し飲酒運転の根絶広報
- ・ 交通機動隊と合同で飲酒検問

等を実施した。

(2) 高齢者事故防止対策の実施

高齢者事故を防止するため、

・ 大型商業施設におけるチラシなどを活用した広報
・ 国道におけるサインカーを活用した広報
・ 地元ラジオ局を活用した広報
等を実施した。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

- 1 特殊詐欺被害防止対策の推進
- 2 交通死亡事故抑止対策の推進

意見・要望・質疑等（○は署長等の説明）

- 1 特殊詐欺は主に高齢者がターゲットになっていることから、市と連携しながら、警察官が高齢者世帯を訪問して広報啓発活動を行うべきと考えるが如何。
○ 現在、交番や駐在所の勤務員が巡回連絡等の活動を通じて、直接地域の方にチラシを配布しながら特殊詐欺被害防止広報を実施しています。ご意見を参考に効果的な対策を講じてまいります。
- 2 上越署管内の横断歩道に横断者がいる場合の車両の停止率について伺う。
○ 当署では、横断歩道における車両の停止率に関する調査は行っていませんが、管内の歩行者事故や交差点における事故は減少しています。
これまで関係機関・団体と連携して行ってきた広報等を通じて、横断歩道におけるドライバーの意識が変わってきているものと考えています。
- 3 児童虐待が増えているとのことであるが、コロナで自宅にいる時間が長くなったからと考えて良いか。
○ 児童虐待の認知件数が増えた理由については判然としませんが、報道等によって児童虐待の危険性が市民の方々に広く伝わり、積極的に通報をいただいていることが一因と考えています。
- 4 防犯活動の一環として各地区で行われる会合や行事に警察官から参加いただき啓蒙活動に協力していただきたい。
○ 当署としても積極的に地域における防犯活動に参画していきたいと考えています。上越署にご相談いただきたいと思います。

答申

質疑の後、上越警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。